

**令和元年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立五箇中学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学に、今年度は英語を加えた3教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「数学A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「数学B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

また、中学校の英語は、今年度、新たに加わった教科で「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4領域の調査を実施し、「参考値」扱いである「話すこと」を除く3領域について集計されました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【教科の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	72.8%					○
数学	59.8%					○
英語	56.0%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	70.2%					○
書くこと	82.6%					○
読むこと	72.2%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.7%					○

【考察】

- 「相手に分かりやすく伝わる表現を理解しているか」、「話合いの話題などを捉えて自分の考えをもつことができているか」をねらいとした問題は、全国と比べ高い正答率でした。授業の中で意図的に話合い活動を取り入れている成果であると考えられます。今後も継続して指導していきます。
- 「読むこと」の領域は、文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える問題において、正答率が全国平均を下回りました。今後は授業の中で、必要となる中心的な部分と付加的な部分が読み分けられるよう指導し、改善を図ります。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.8%					○
図形	72.4%					○
関数	40.8%					○
資料の活用	56.3%					○

【考察】

- 全領域において、全国平均を大きく上回る高い正答率でした。しかし「数と式」の領域では、「簡単な連立二元一次方程式を解く」という基本的な問題における正答率が全国平均を下回りました。今後、基礎的基本的な事項を再度見直し、改善を図ります。
- 資料の活用の領域は、「資料を整理した表から最頻値を読み取る」問題において、正答率が全国平均を下回りました。「資料の傾向を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明する」問題においては、高い正答率であることから、「最頻値」の意味を理解していないことが原因であると推測されます。今後、語句の意味について理解を深め、数学的な表現力をより高められるよう努めていきます。

【英語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
聞くこと	67.9%			○		
読むこと	55.6%					○
書くこと	45.8%					○

【考 察】

- 「聞くこと」の領域は、全国と比べほぼ同じ正答率でした。特に、聞いて把握した内容について、適切に応じることを趣旨とした問題では、無解答の生徒も若干見られ、相手の依頼を理解するに至っていない状況であると推測されます。今後、授業の中で会話の場면을意図的に設定し、改善点を明確にした指導に努めていきます。
- 「書くこと」の領域は、与えられたテーマについて考えを整理し、理由を述べる問題では、自分の考えを明確にして記述することができる生徒が多く見られ、これまでの取組の成果が現れています。しかし、続く理由の説明において、説得力に乏しく、論理的に表現する力が不足していることがうかがえます。ALTを活用した授業を通して英語による表現力を高める指導に努めていきます。

**令和元年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立五箇中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
中 3	全 国	14.9	35.5	37.3	12.2
	五箇中	11.1	55.6	22.2	11.1

(単位 %)

【考 察】

- 「計画を立てて勉強している」「どちらかといえればしている」と回答した生徒は全体の約7割おり、生徒は目標を持って学習に取り組んでいる状況です。これは、家庭学習スタンダードを活用して、家庭と連携しながら自己マネジメント力の育成に努めている成果が少しずつ現れてきたものと考えられます。
- 生徒がより主体的に見通しをもって学習に取り組めるように、個々の達成状況に応じた単元計画や課題を提示するなど、目標を具現化できるよう学習計画作成を含めた支援に心がけていきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4
	五箇中	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習の時間は、全国平均と比較して若干上回り、本校生徒は計画的に学習に取り組んでいることが分かります。今後も生活ノート等を活用して生徒一人一人の家庭学習状況を把握し、支援していきます。また、家庭との連携を図りながら学習時間の確保に努めていきます。
- 学習内容や学習方法に関する個別相談を実施します。放課後の自主学習の場を提供し、個に応じた学習支援と環境の整備に努めていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中 3	全 国	4. 8	7. 6	14. 6	23. 4	14. 8	34. 8
	五箇中	0. 0	11. 1	11. 1	33. 3	0. 0	44. 4

(単位 %)

【考 察】

- 30分未満の生徒が全体の7割以上を占めています。生徒の大半が、学校での朝の読書の時間だけの取組になってしまっている状況です。図書室を常に開放して、休み時間や放課後の図書室活用の利便性を高め、本に触れる機会と環境の整備を推進していきます。
- 学校司書を有効に活用して、学習内容に合った本の斡旋や生徒のニーズに応じた図書の紹介などを行い、図書室を中心とした読書活動の推進に取り組んでいきます。

4 新聞を読んでいますか。

		ほぼ毎日 読んでいる	週に1～3回程 度読んでいる	月に1～3回程 度読んでいる	ほとんど、また は全く読まない
中 3	全 国	4. 4	8. 3	15. 8	71. 3
	五箇中	11. 1	22. 2	44. 4	22. 2

(単位 %)

【考 察】

- 新聞を読む頻度の高い生徒ほど各教科の正答率が高いという相関関係が明確にされています。本校は、昨年度まで、NIE実践校に認定されていました。その経験を活かして、グループセッションで新聞を活用するなど、新聞に触れる環境をさらに整えていきます。
- 全教科で新聞記事を活用した授業を計画的に進めていきます。新聞から情報を主体的に取り、関わりを持つ姿勢を身につけさせていきます。